



東北大学



平成 29 年 3 月 8 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

東日本大震災 6 周年シンポジウム 「災害研の活動と新たな一歩」開催のご案内

東北大学災害科学国際研究所（IRIDeS）では、東日本大震災から 6 周年を迎えるにあたり、3 月 12 日に、一般公開のシンポジウムを開催いたします。

自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進するとともに、国内外の巨大災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くための活動を続けてきた災害科学国際研究所は、昨年 4 月に発足から 5 年を迎えて新たな一歩を踏み出し、歩み始めました。

今回の 6 周年シンポジウムでは、当研究所のメンバーが、第 1 部で研究所のこれまでの活動の成果報告および総括を行い、第 2 部で今年度から始めてきた活動、および来年度から新たに始めようとしている活動の概要および今後の活動計画などを報告します。なお、今回は東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラムによる展示ブースも併設しており、安全・安心な社会の構築のためのトップリーダーの卵である大学院生の活動をパネルで紹介しております。

また、隣接する会場では仙台市主催の「仙台防災未来フォーラム 2017」も開催しており、本シンポジウムも連携シンポジウムの一つとして登録されておりますので、会場をまたいでの双方のイベントへの参加が可能です。

つきましては、ご多用のところとは存じますが、本イベントについて広く周知いただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。当日取材をご希望される報道機関の方は、3 月 10 日（金）16:00 までに広報室（連絡先下記）へ申し込みください。

詳細は以下のとおりです。

【日 時】： 平成 29 年 3 月 12 日（日）9:45～14:50 （受付 9:15 から）

【場 所】： 仙台国際センター 展示棟の展示室 3

【主 催】： 東北大学災害科学国際研究所

【共 催】： 東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

【プログラム】：※詳細は別添のチラシをご覧ください。

9:45～11:40 第1部「災害研の活動の成果」

12:00～14:50 第2部「災害研の新たな一步」

【イベント申し込み方法】：

以下のいずれかの方法で、

①氏名（ふりがな）

②所属

③連絡先（メールアドレス/電話番号）

を明記の上、お申し込みください。

※定員になり次第、申込受付を終了します。

申込受付番号は発行しません。定員に達した場合のみご連絡致します。

・メール 送付先：sympo2017@irides.tohoku.ac.jp

・電話 連絡先：022-752-2049

・FAX 送付先：022-752-2133

・葉書 送付先：

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 東北大学災害科学国際研究所 広報室

・ウェブ申込フォーム

<http://irides.tohoku.ac.jp/event/houkokukai/6years.html> にて

【問い合わせ先・取材お申し込み先】

東北大学災害科学国際研究所 広報室

TEL：022-752-2049

FAX：022-752-2013

E-mail:koho-office@irides.tohoku.ac.jp



東日本大震災 6 周年シンポジウム

災害研の活動と新たな一歩

主催：東北大学災害科学国際研究所

共催：グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

入場無料

2017年 3月12日(日)

9:45～15:00(受付9:15～)

仙台国際センター

(地下鉄東西線 国際センター駅)

第1部：災害研の活動の成果

9:45 - 開会の挨拶

災害科学国際研究所長 今村 文彦

9:50 - 第1部の趣旨説明

奥村 誠 (人間・社会対応研究部門/被災地支援研究分野・教授)

9:55 - 防災功労者内閣総理大臣表彰につながった活動

今村 文彦 (災害リスク研究部門/津波工学研究分野・教授)

10:10 - 調査活動報告

◆熊本地震とハザード評価への教訓

遠田 晋次 (災害理学研究部門/国際巨大災害研究分野・教授)

◆台風10号による豪雨災害 ～岩手県の被害を中心に～

森口 周二 (地域・都市再生研究部門/地域安全工学研究分野・准教授)

10:40～10:50 休憩

10:50 - 災害対応

◆平成28年熊本地震に対する東北大学病院災害派遣医療チーム (DMAT) の活動

佐々木 宏之 (災害医学研究部門/災害医療国際協力学分野・助教)

◆地域の暮らしと住まいの復興

岩田 司 (地域・都市再生研究部門/都市再生計画技術分野・教授)

◆東日本大震災の経験が生きたこと/生きなかったこと

丸谷 浩明 (人間・社会対応研究部門/防災社会システム研究分野・教授)

11:20 - 東北地方整備局との連携による人材育成

佐藤 健 (情報管理・社会連携部門/災害復興実践学分野・教授)

11:30 - 実践的防災学の体系化と教育

村尾 修 (地域・都市再生研究部門/国際防災戦略研究分野・教授)

11:40～13:00 昼食
実践的防災学およびリーディング
大学院 (グローバル安全学)
に関する展示物

第2部：災害研の新たな一歩

13:00 - 第2部の趣旨説明

寺田 賢二郎 (地域・都市再生研究部門/地域安全工学研究分野・教授)

13:05 - 緊急調査戦略会議

奥村 誠 (人間・社会対応研究部門/被災地支援研究分野・教授)

13:15 - 共同利用・共同研究拠点化に向けて

伊藤 潔 (災害医学研究部門/災害産婦人科学分野・教授)

13:30 - プロジェクトエリア・ユニットについて

◆プロジェクトの概要

◆「健康」エリアから: 災害から命と健康を守るための学際研究

富田 博秋 (災害医学研究部門/災害精神医学分野・教授)

◆「情報」エリアから: 学際研究による震災アーカイブから自然災害アーカイブへの転換

柴山 明寛 (情報管理・社会連携部門/災害アーカイブ研究分野・准教授)

14:10 - 国連防災世界会議のその後

◆仙台防災枠組とは

泉 貴子 (情報管理・社会連携部門/社会連携オフィス・特任准教授)

◆災害統計グローバルセンター/世界防災フォーラム

小野 裕一 (情報管理・社会連携部門/社会連携オフィス・教授)

14:35 - 防災推進国民大会 (防災こくたい) 報告

丸谷 浩明 (人間・社会対応研究部門/防災社会システム研究分野・教授)

14:45 - 閉会の挨拶

丸谷 浩明 (人間・社会対応研究部門/防災社会システム研究分野・教授)

*参加ご希望の方は、災害科学国際研究所 広報室 (月～金 10:00～17:00) までお申し込みください。
*お名前 (ふりがな)、ご連絡先、ご所属を、申込フォーム(ウェブサイト)・電話・メール・FAX・葉書のいずれかでお知らせください。
*締切：3月2日(木)、参加費は無料です。

【災害科学国際研究所 広報室】

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1

電話：022-752-2049

ファックス：022-752-2133 (「広報室宛」と明記)

メール：sympo2017@irides.tohoku.ac.jp

ウェブサイト：http://irides.tohoku.ac.jp/event/houkokukai/6years.html

